

市内の自然・史跡や特産品なども交えて見所をお伝えしながら、地元の身近なウォーキングコースを紹介していきます。地元の意外と知られていない名所や素晴らしい自然、見所を巡りながら、皆さんもぜひ歩いてみませんか。

常陸太田文化課エコミュージアム推進室（内線 541）

稲木町ハイキングコース 距離：約6km 所要時間：2時間半

今回は、佐竹地区を歩いてきました。山吹運動公園駐車場に車を置き、野球場のそばに歴史の里ハイキングコースの看板があるので、それを目印に史跡をめぐるハイキングです。佐竹地区は、徳川光圀公ゆかりの史跡が多くあるので、のんびり歩いて常陸太田の文化や歴史にふれてみてはいかがでしょうか。

永田勘衛門（円水）の墓



徳川光圀公の時代には、久昌寺周辺の水源確保のために清命水道と山寺水道の2つの水道が敷設されている。この両水道の設計・施工を行ったのが、永田円水である。

旧久昌寺跡



幕末の動乱により荒廃し、明治初期に移転。

雪村の碑



昭和19（1944）年に建立。「雪村」は、室町時代の水墨画家で、刻まれている文字は横山大観の筆によるもの。震災の影響で倒れている。



山寺の水道



トンネルは、高さ1.6m、幅1.3m前後の不整形なかまぼこ形になっていて、底には水が流れている。

鼻取地藏尊



鼻取地藏は、田植えのときに小僧に化けて馬の鼻取りを手伝ったことからその名がついたという。

源氏川沿いのしだれ桜



総合福祉会館の周りには、地域の方のボランティアによって、47本のしだれ桜とスイセンが植えられている。